



静岡県

富士山

41駿府城

諏訪原城

掛川城

高天神城

浜松城跡

興国寺城跡

山中城

浜松城跡
歴史の資料や武具
を展示する天守閣

苗木城址

岩村城址

古宮城址

長篠城址

掛川

菅田

愛知県

長野県

山梨県

山梨県

富士吉田

御殿場

富士箱根伊豆
国立公園

小田原

富士宮

富士

沼津

三島

伊豆

伊東

下田

御前崎

山梨県

静岡県

静岡県

藤枝

駿河川

東海道新幹線

19

E19

E70

E1

23

40 山中城跡

--- 100名城 ---

20.3.25

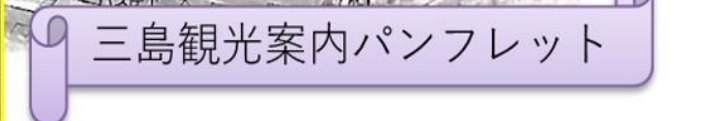


案内写真での障子堀はどんなかなあーと思いつつ、実際見て見ますと本当にユニークな発想の堀でした。しかし未完成のためこのお堀での結果を見ずして落城したのが口惜しいです。

ここでも馬曲輪から富士山が本当にきれいに観られ嬉しくなってしまう。

山中城は、後北条氏 渾身の山城は空堀のデパート！

静岡と神奈川の県境近く、芦ノ湖の少し南あたりの山中に残る山中城跡は、障子堀(しょうじぼり)と呼ばれる障子の棧(さん)のような縦横のあぜ道を持つ横堀で有名な山城。対立した秀吉の小田原攻めに備えて堀や曲輪の整備増強が図られるも、未完成のまま4万の大軍に攻撃され僅か半日で落城。そのまま廃城となった。



41 駿府城

--- 100名城 ---

2020.3.24



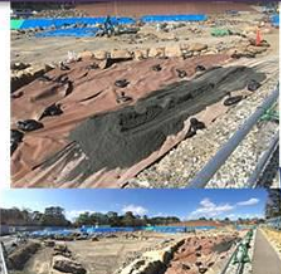
駿河城公園は静岡駅に近く、広大な敷地内(旧内堀-現埋立)に駿河城址があります。北西部では天守閣の発掘調査が行われております。これを観ると、家康の強大な権力に身震いを覚えます。この日は天気良く、ビール片手に公園中央の芝生に座り、のんびりと過ごしました。又北側には富士山がきれいに見え最高です。

徳川家康が、将軍を秀忠に譲って”大御所”となった後に生活・政治の拠点とした。5重7階の大天守があげられたが、1635年に火災で焼失。明治廃城令により建物・城門等は全て破棄。平成になってから巽櫓、東御門などが順次再建されている。3重の堀は、最も内側の内堀がほぼ埋め立てられ、今は2重の堀となっている。外堀の内側は学校や省庁などが建ち並ぶ。中堀の内側は城址公園として整備され、東御門など幾つかの建造物が再建されている。



FB - 058

駿河城公園



紅葉山庭園



駿河城空撮



駿河城ジオラマ



42 掛川城

--- 100名城 ---

2020.3.23



掛川市の駅前に立つと予想外に静かで、東海の名城と謳われるほどの貴族的な外観をもつ掛川城天守閣があるからかどうか、落ち着いた気品も感じられる町並みです。言い過ぎかも知れませんが？

ただ残念なのが落ち着く休憩所(公園のような場所)がなく、見て帰るだけでした。

掛川城 は山内一豊公が建てた「東海の名城」

当地を治める家康が関東へ移封され、代わって山内一豊が掛川城主となった。一豊公は掛川城を3重4階の天守に大改修。東海の名城として謳われるも、1854年の安政大地震により天守・御殿が倒壊、御殿は再建されたが天守は再建されず明治を迎え廃城。その後、天守は1994年に再建された(日本初の木造復元天守、外観は古絵図と高知城天守を参考にした一部想像の姿)。



FB - 061

掛川三城ものがたり

遠江支配の攻防を繰り広げた歴史に名を残す城郭

- ・東海の名城 **掛川城**
- ・難攻不落の城 **高天神城** (次にご紹介)
- ・玉石積みの石垣 **横須賀城** (名城入りならず)



高天神城奪還の為に築かれた横須賀城跡



有田焼の立体模型



二ノ丸御殿



145 興国寺城跡

こうくじ

--- 続100名城 ---

2020.3.24



FB-064

空撮 (沼津市パンフレット)

山中城跡登城後に興国寺城跡へやってきました。正直同じ続100名城でこんなにも落差があるとは、ガックリしました。規模や整備など、本当に失礼ながら情けないくらいにお粗末でした。片道30分かけて歩いてきたのが情けないです。というのが第一印象です。もっとも福井城も続100名城なので、威張れたものではありませんが。

しかし、よくよく調べていきますと、続100名城に指定されたのがH29.4月・現在発掘調査中で、将来的には史跡公園としての活用を検討中だとか。また、「ぬまずの宝100選」に選ばれているという事で、失礼ながら今後に期待です。

興国寺の歴史

興国寺城は、今川・武田・北条各氏によってたびたび奪い合われた城で、武田氏滅亡後には徳川家康の支配下となり、多くの軍勢が駐屯可能な徳川氏の拠点のひとつとして改修された。また大兵力を動員した小田原攻めが興国寺城の拡張、改築に影響した。

家康が関東へ入封されると豊臣氏の家臣・中村一氏が城主をつとめた。「関ヶ原の戦い」後は興国寺城の存在意義は小さくなり天野康景が1万石で入封したがのちに出奔したため廃城となった。



146 諏訪原城跡

--- 続100名城 ---
2020.3.23



別名：牧野城(徳川攻略後改名)

高天神城攻略で利用し、武田氏滅亡後廃城(1590年)



FB - 063

JR金谷駅から30分の案内のところ、近道と思う別の道を選んだのですが、とんでもない急な坂道で1時間も掛かってしまいました。しかし登り切った先にはお茶畑が広がっており、素晴らしい眺望でした。

そして帰りは城跡管理の職員さんに教えられた道(旧東海道)を行ったのですが、これが面白い道で、「すべらない石畳」として島田市では有名らしく、また途中には「長寿・すべらず地藏尊」のお堂がありました。受験や商売など、何事も願いが叶うという事から来ているそうです。しかしこの道、30~50cm大の円形の石が敷き詰められており、とにかく足元の石を注意しながら歩かないと足首を捻りそうで(逆に滑りそうで)、歩き難くて難儀しました。

長寿・すべらず地藏尊
お地藏様・六角堂・鞘堂



長寿・すべらず地藏尊
このお地藏様・六角堂・鞘堂は、町民の手により建てられたものです。すべらず地藏のいわれは、この石畳は「すべらない」という特徴から、受験や商売など、何事も願いが叶うということからきています。

金谷坂の石畳(すべらない石畳)-島田市指定史跡



6 二の曲輪中馬出(三日月堀)
武田氏滅亡後、この中馬出は、島田方面に逃げた武田氏の足跡と見られる。

5 外堀
堀の内側に土を盛り上げた土塁があり、堀の外側には土塁と平行した溝が掘られている。

(加藤理文監修/香川元太郎作画)



茶畑の広がる丘陵(城跡前)

推定復元図

147 高天神城跡

たか てんじん

--- 続100名城 ---

2020.3.23



別名：鶴舞城

高天神城は難攻不落の名城と云われた。

静岡県中央を分断している大井川の西側を遠州と云い、この地にある難攻不落の高天神城を制する者は遠州を制するとまで言われていました。今川滅亡後、家康の持ち城となったが、武田勝頼(信玄の息子)の攻めで明け渡しました。

その後「長篠の合戦」で大敗した勝頼は衰退。家康は5年の年月をかけた意周到に周りを固め、奪還に成功しました。

その周到さは壮絶で、周囲を2城(奪還の為にだけに築城した横須賀城、と、前段階の準備として勝頼の城・諏訪原城[名城入りで後で紹介]を落城させた。)の準備と6砦を築き実現しました。



高天神城の案内パンフレットに「難攻不落の名城と呼ばれた戦国のロマンをかたる」とキャッチフレーズがありますが、私が思うにそこは語り知れない地獄そのものだ。生死そのものにロマンが存在するのか疑問です。普通の庶民感覚では恐怖だけで想像を絶するものと思います。

高天神城の城郭構造

標高132メートルの鶴翁山の地形を巧みに活かした「難攻不落の名城」を探索してみませんか



掛川三城ものがり
遠江支配の攻防を繰り広げた歴史に名を残す城郭

- 東海の名城 掛川城 (前回投稿済)
- 難攻不落の城 高天神城
- 玉石積み石垣 横須賀城 (名城入りならず)



高天神六砦+横須賀城による包囲網
東名高速道路

高天神城跡

徳川軍 武田軍



掛川市観光パンフレット

148 浜松城

--- 続100名城 ---
2020.3.23



浜松城は、天竜川の扇状地「三方ヶ原」の南東端に築かれた城で、戦国期・家康の居城。元は今川氏方の城(曳馬城)だったが家康が遠江を領した際に強固に改修。三方ヶ原の戦い・長篠の戦い・小牧長久手の戦いは、ここ浜松城時代に勃発している。家康の時代は土の城で、その後 豊臣方の堀尾忠晴が入り総石垣・大天守などを持つ近代城郭へと改修した。



FB - 060

この浜松城公園も本当に広く、心身ともに癒されます。また日本庭園ではリスを見ました。浜松と云えば--YAMAHA--ですが、駅の近くに「浜松市楽器博物館」があるのを後で知り、残念でした。いつか神奈川県の名城巡り時に途中下車で観たいと思っています。

浜松城公園ご案内



案内パンフレット



3Dプリンター・ジオラマ



ジオラマ

萩広場



日本庭園

日本庭園

浜松城天守閣

家康像

みどりの回廊

せせらぎ中央芝生広場

展望広場

児童ボール

巨石が配された天守門と天守附櫓

案内表示板設置箇所

「出世城」 と呼ばれた 浜松城

浜松藩政300年の間に再任を含め、25代の城主が誕生し、老中に5人・大阪城代2人・京都所司代2人・寺社奉行4人が登用されています。